

# 緑区社協ボランティアセンターだより

平成18年10月発行

## ボランティア募集!!

※この他にも様々なボランティアがあります。  
お問い合わせください。  
※初めてでもOKです。経験・資格は問いません。

### 障がいを持つお子さんの通学支援

障がいがあるため、一人で通学するのが難しいお子さんは、常に保護者が付き添わなくてはなりません。そのため保護者は大変なご苦労をされています。週に1度でも、片道でも結構ですので、ぜひお手伝いしてください。

慣れるまでは、保護者も付添います。安心してお手伝いしてください。

地区	学年	障がいの程度
1 長津田	小学低学年	車いすに乗っています。車いすは本人が操作します。自宅⇄学校までの坂道などでの手伝い。
2 青砥	小学高学年	車いすに乗っています。車いすは本人が操作します。自宅⇄学校までの付添い。
3 霧が丘	小学低学年	軽度の自閉症。自宅⇄学校までの付添い。
4 中山	養護学校 高校生	中山駅⇄みどり養護学校(バス停:東本郷町)のバス内での付添い。

### 視覚障がい者の付添

地区	内容
十日市場	病院や買い物の付添

### イベント手伝い

#### ○ハーモニーみどりまつり

福祉体験・フリーマーケット・お食事コーナー・地域活動団体発表会など催し物いっぱいのお祭りです。一緒にお祭りを盛り上げませんか?

日時	場所	内容
12月2日(土) 14:00~17:00	ハーモニーみどり(中山)	前日会場準備
12月3日(日) 8:30~17:00	ハーモニーみどり(中山)	お祭りスタッフ

#### 申込みひ切 10月末日

\* 男性の方、ぜひご協力ください。



社会福祉協議会では、ボランティアの依頼と、ボランティア登録者を結ぶ橋渡しの仕事をしています。  
**お問い合わせ・登録は、「ボランティア相談コーナー」へ!!**

電話 935-7807

FAX 934-4355

受付時間 月~土曜日 9:30~16:30(登録はご来所いただきます)

### 赤十字救急法正規講習会

突然のけがや病気に対して、適切な緊急処置のできる人を養成するために、救急法講習会を開催します。

日時 平成18年11月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日) いずれも午前9時~午後5時

会場 ハーモニーみどり2階多目的研修室 対象 15歳以上で全日程参加できる人。緑区内在住・在勤・在学者

参加料 1,000円 定員 28名(応募者多数の場合は抽選)

申込 氏名・住所・電話番号・年齢・性別・職業を電話、ファックス又は緑区社協事務局窓口にて。10月25日(水)まで。

電話 931-2478 FAX 934-4355

### 緑区社協善意銀行に寄付していただけますか

緑区社協では、区内のさまざまな福祉活動を推進するために広く寄付金を募っています。寄付金は、区内の福祉活動団体、障がい者団体、区社協の事業費として使わせていただきます。区民のみならずの善意の寄付を福祉のために使うことから善意銀行と呼んでいます。寄付者は税制上の優遇措置が受けられます。よろしくお願ひします。

あいさつ運動が各地ですすすめられています

この印刷物は再生紙(古紙混入率70%)を使用しています。

# 社協だより

第12号

# みどり

発行 社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会 緑区中山町413-4ハーモニーみどり内 TEL 931-2478 FAX 934-4355  
ホームページ: http://www.midori-shakyo.jp

平成18年10月発行

## 今、福祉教育を 考える!!

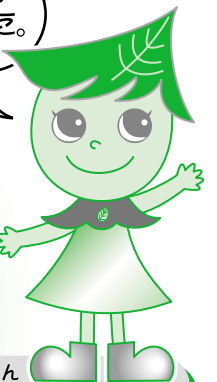
## 大人が変われば子供も変わる!生徒の福祉の理解はまず先生から! 中山小学校で教員対象に知的障がい者を 理解するための研修が行われました

車いす、アイマスク、手話点字等肢体障がい者の体験学習はありますが、知的障がい者を理解する研修というのは講話が中心で頭で分かって、からだで体験することはなかなかできませんでした。

今回中山小学校では、先生を対象に知的障がい者が普段困っている「言葉によるコミュニケーションがうまくできない」「手や指先がうまく使えない」等の疑似体験をワークショップ形式で行い、知的障がい者が普段「何に困っているか、どんなサポートをしてほしいか」を知る研修をHIMAGINE(\*1)というグループを講師にむかえ行いました。

受講した先生からは「相手を分かりたいという思いを持って接することが大事だと思った」「障がいのあるお子さんだけでなく、全ての児童にもその子にあった教え方があると感じた」という感想があり、大変好評でした。こうした研修が、もっと多くの教員に、生徒に、保護者、地域の人へとさらに広がっていくことを社協でも期待し、応援していきます。

様々な  
体験を通して  
話し合いが  
行われました。



### 研修風景です



### (\*1) みどりちゃん HIMAGINE(ひまじん)とは?

知的障がい児・者の保護者・支援者が、分かりにくい障がいである「知的障がい」を知ってもらい、障がい者やその家族が暮らしやすい地域にしていくことを目的につくられた団体です。  
疑似体験で、知的障がい者の気持ちを体感してもらうとともに、支援者としてどのように接すれば良いかを話し合う研修を行います。

## 視点を考える。かわいそう、偉いねで終わらない福祉教育とは ハートバリアフリー実行委員会(仮称)を立ち上げるにあたって



実行委員会発起人代表  
視覚障がい者 村田さん

障がいのある人も「みんなと同じように生きていきたい」「みんなと同じように楽しみたい」「みんなと同じように勉強したい」という欲求を持っています。この気持ちを地域の方に伝えたい、分かってもらいたいという思いから、この実行委員会を立ち上げました。応援してください。

**背景** 現状の学校福祉教育は、生徒が「障がい者疑似体験」や「障がい当事者の話しを聞く」という内容で、結果的に「かわいそうね」「偉いね」という感想を持つところで終わってしまっています。

障がい当事者が発起人となり、「障がい当事者の思いを伝えるための福祉教育」を考え実践していくこととなりました。

**思い** 健全者も障がい者も「みんな同じ」ということを伝えたい。

**誰が伝える?** 障がい当事者・家族

**対象** 小・中学生や学校の先生

この広報紙は赤い羽根共同募金の一部を活用して発行しています